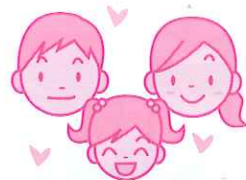


しちがはま ボランティア情報誌



ドリー夢



No.16
2013.3.1

編集発行／七ヶ浜町ボランティアセンター〈七ヶ浜町社会福祉協議会〉

〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台7丁目8-153 TEL.022-349-7781

E-mail: sitigahamasyakyo@ia8.itkeeper.ne.jp

FAX.022-349-7782



今月号の内容

- ボランティアさんありがとう
- ボラセン情報！見て！来て！
- アロカとシャンティーありがとう！
- 復活!!「男の料理教室」
- 小学生！キャップハンディ体験特集！
- ボランティアさんへ「ありがとうメッセージ」を届けよう
- メモリアル 3.11 絆 イベントのお知らせ
- 七ヶ浜復興応援サポータープロジェクトのご案内
- 募集／学習支援・レクリエーション交流会・科学教室

【写真紹介】

- 1 ボラセンの「受付担当」
七ヶ浜町ボランティア友の会の皆さん
- 2 仙台、長野、東京といつも来てくれる頼もしいメンバー
- 3 地元を中心とするボランティアリーダーの面々
- 4 笑顔カレンダーと町民の皆さん「いい笑顔！」です
- 5 引越寸前のボラセン！
汗と元気が充満したところ…

皆さんの笑顔とパワーに支えられて…
これからも共に前へ。



地元住民から

ほんとにほんとにありがとう！

佐藤 貞子 (代々崎浜)

東日本大震災、全国各地より今まで七ヶ浜町にボランティアに来てくれた方、六万人との事。私も町ボランティア会員です。受付を手伝った時、四百数十人でボランティアセンターに入りきれず、外で朝のマッチングがありました。皆様方の力強いご支援ご協力があり、やっとここまで来ました。猛暑の中、家財道具等、瓦礫置き場まで運んでくれたり、泥塗れになりながら側溝掃除、雪の中、屋根の片付け、黙々と作業している姿に、ご苦労様、ありがとうございますと声掛けの連発でした。氷水を作って飲んでもらったり、私の出来る事はその位でした。浜の清掃も一緒に一列に並んでやりました。私も店一階部分が全部壊れ、手のつけようがなく、想定外の出来事に黙然としてしまいました。でも、2011年12月より仮設七の市商店街にて魚屋を営んでおります。毎日ボランティアさんとの出会い、会話が楽しみになり、旬の物を食べ喜んでもらうと最高の気分になります。本当に感謝申し上げます。

ボランティアさんとの出会いに感謝！

和泉 文江 (菖蒲田浜)

東日本大震災から2年を過ぎました。震災後は私だけではないと思い意気込んでおりましたが、仮設住宅に入ってから、段々と落ち込んでしまい、ぼう然とする毎日でした。ある日、仮設の集会所にたくさんの人がいました。何だろうと思い参加した所、他県から来て下さったボランティアさんでした。私も半分不安な気持ちでしたが、直ぐに話をする場を持って頂き、心が安心しました。それから何回も来て頂きました。炊き出しの方、マッサージの方、歌を歌ってくれた人、ゲームなどもしました。今まで仕事ばかりで、初めてやる事ばかりで戸惑っておりましたが、気持ちが晴れやかになりました。一回だけの出会い、何回もお会いする人、友達の様になった人もありますが、みんな本当に大変なのに、笑ってくれた顔を思い出します。皆様にお会いする日を楽しみに、私達も頑張りたいと思います。

ボランティアさんありがとう!!

震災以来、七ヶ浜町は全国・世界各国から数えきれないほどの温かいご支援をいただきました。その支援に「いつか恩返しをしたい！」その思いは皆同じ気持ちだと思っています。できる人から、出来ることを少しずつ。被災された皆様から寄せられた作文をご紹介します！





地元ボランティアから

復興を実感しながらの前進に！

菊池 義徳(仙台市泉区在住)

震災発生から丸2年を迎え、被災地の状況は相当様変わりして来ております。しかし、地域と調和した景色や安定した生活には程遠く、依然として先の見えない復興・再生への長い道のりに、多くの方々が不安を払拭出来ない状況に置かれているのではないのでしょうか。

もう2年も経ちます。是非、これからの時間は復興を実感しながらの前進にしたいものです。当面の対応ではなく、地域全体の復興計画や個々の将来をしっかりと見据えて行政や支援の輪と共に歩みましょう。地域やそれぞれの将来像を描くために皆さんの大きな声を反映させましょう・・・

震災直後の惨状に居たたまれず始めた私の活動も約290日、現地で恐怖さえ感じながら会話もタブーにひたすら作業した状況は変わりました。皆さんの描いた未来を実現する為に少しでもお役に立てればと思ってます。今まで培った沢山の絆を大切にしながら。



想いと感謝！

佐藤 徳雄(松島町在住)

東日本大震災を経験し、多くの方が被災地でボランティア活動を行っていると思います。そして、被災地の現状を目のあたりにした人は言葉を失った事だと思います。私は、震災当初何度もこれは夢なんじゃないかと、朝目が覚めると震災前の風景に戻っているのではないかと。現実はそのではありませんでした、七ヶ浜に何度も足を運んで復旧復興に支援を続けて下さるボランティア仲間、いくら感謝しても感謝しきれない「ありがとう」としか言えません。私が、作業終了後に挨拶をさせて頂く時に云う言葉があります。「現場に来て作業するだけがボランティアではないと思います。自分の出来る場所で、自分の出来る事を、ただ継続して下さい。継続する事によって、七ヶ浜や他の被災地の復興に繋がります。」と話をさせて頂いています。そう言う理由ではないでしょうが、皆さん地元に戻られてから自分が出来る活動をされているようです。そして七ヶ浜にまた足を運んで下さる。そんな人達に支えられての七ヶ浜。これからも「共に前へ」



H24
11/24(土)

地元の漁師さんからボランティアさんへありがとうの気持ちを届けたい!!



七ヶ浜名物「ぼっけ」を通じての町民とボランティアの絆を再確認！当日は地元の漁師さんが地場産品を使って作った料理を400人以上のボランティアさんが食べてくれました。漁師さんの「この縁を大事に。これからも繋がってほしい」という想いをみんなで共感しました！

ボランティアセンターイベント案内

《2月のスケジュール》お気軽にきてください(〇)

日	曜日	ボラセン内	仮設集会所・地域・その他
2日	土		
3日	日		
6日	水	すまいるセブン	おらほのサロン
7日	木	すまいるセブン	
8日	金		
9日	土		カフェコンサート 第1集会所
10日	日		カフェコンサート 謡集会所 学習支援
13日	水	すまいるセブン	おらほのサロン
14日	木	すまいるセブン	
15日	金		
16日	土	幹 MIKI&佐藤達也ライブ14時 30分～15時30分	
17日	日	マッサージ&お茶会 13時30分～	足湯・学習支援
20日	水	しゃべり場7 笑顔のチョコベジ	おらほのサロン
21日	木	すまいるセブン	
22日	金		
23日	土		足湯
24日	日		学習支援
27日	水	語り部隊勉強会	おらほのサロン
28日	木	すまいるセブン	

☆継続イベント紹介

●すまいるセブン

町民フリースペース日です。お気軽にご利用下さい。10時～15時

●しゃべり場7VC (ママ達のお茶のみ会)

子どもさんがいるママ達の集まりです。しゃべって！聞いて！情報交換したり震災を体験した子ども達のこと考える会です。昔のママも大歓迎です。

●語り部隊 (震災の体験を伝えよう)

6万人以上のボランティアさんの力がヒケ浜をよみがえらせてくれています。今度はできることから支援のお返しを……

ちょっぴりでいいから震災のこと、誰かに伝えてあげませんか？私たちの体験が今度は減災や防災に繋がるのです！参加者募集中です。

●カフェコンサート (無料)

震災後仮設集会所やボランティアさんの労をねぎらう為に毎月1度、プロの演奏家と共に美味しいスイーツとコーヒーを届けに横浜から来てくれた「あっちこっちの会」さん。今年は町民の皆様へ無料カフェを開催してくれそうです。最近では七の市開催時や地域分館でも演奏会をしています。

●学習支援

2011年夏より大学生協が先生に！

2月は受験対策中心です。

場所は中央公民館！0時～15時までです。



☆参加者募集イベント紹介

●幹MIKIライブ

蔵王町在住の新鋭アーティストの幹さん！自作の「ハレルヤ」は皆さん聞いたことがあるはず。渾みきった歌声をボラセンで披露してくれます。

●笑顔のチョコベジ

みやぎ野菜ソムリエの会が主催です。野菜とチョコレートコラボ食を提供してくれます。

●マッサージ&お茶会

看護師を中心としたメディカルヒーリングのセラピストが主催します。良く眠れない方！疲れが溜まっている方！心や身体に不安がある方へ



今年の冬は例年になく雪が降り、子ども達も遊び場がなくなり、冬を楽しく過ごすことができません。皆さんは雪が降りたとき、子ども達が安全に遊ぶことができるようにと、凍結した道路の除雪をしてくださいました。寒いけど、ホッとするような温かい気持ちがあります。

浜を元気に！七ヶ浜町復興支援 ボランティアセンター情報

2月号



《発行》

平成25年2月5日

〒985-0802

吉田浜野山5-9

生涯学習センター内

☎

09068534490

★その他のボランティア団体イベントの紹介★

●足湯 (温かいお湯に足を浸かって、心と体のリラックス)

2月16日(日) 浜浜仮設集会所

2月17日(日) 第1スポーツ広場仮設集会所

2月23日(日) 七中仮設集会所

2月24日(日) 国際村仮設集会所

時間 いずれも13時30分～15時

※担当 NPO法人レスキューストックヤード

●マッサージ

2月17日(日) 午前：国際村仮設集会所

午後：野外活動仮設集会所

謡仮設集会所

2月21日(木) 午前：七中仮設集会所

午後：浜浜仮設集会所

時間 10時30分～15時

※担当 からだ復興支援隊・ボディケア

●データ入力ボランティア募集！

簡単な入力作業です

日時 2月 毎週木・金

時間 10時～15時

場所 ボランティアセンター内

●ボランティアが必要な方募集！

片付けや引越、またイベントボランティアさんが必要等
お気軽にお問合せ下さい。

ボラセン情報！ 見て！来て！

センターはオープンボラセンと称して町民の方々に交流スペースを開放しています。愛称は「すまいるセブン」被災された方が名づけ親です。一日の始まりは「おらほのラジオ体操」です。ターゲット！皆さんの語らひの場にお気軽に利用してください！

アロカとシャンティありがとう！

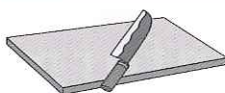


震災後すぐに山形県、朝日町から来てくれたウサギさん達！

大人から子ども達、多くの方に愛されました。今はアイドル時代に別れを告げて、アロカは愛知県へ、シャンティは町内の優しい里親さんのもとで元気にくらしています！

私達に「希望と夢を与えてくれてありがとう」

復活!!『男の料理教室』



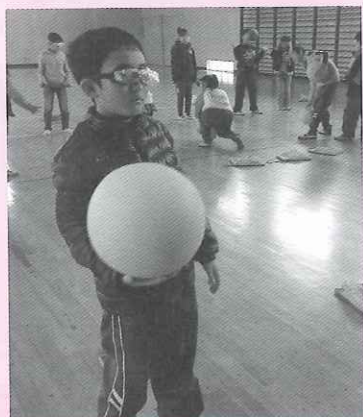
2年ぶりに再開した男の料理教室は10回目を迎えました。今回は震災で多くの人が経験した非常食、特に缶詰、乾物にひと手間加えた料理に挑戦しました。

料理を作るのは楽しい、食べるのはもっと楽しい、皆さんで作ることで生まれるコミュニケーションの時間。野菜を切ったり調理のポイントを知ったり、実際に作りながら楽しく学んで皆で食事をしました。

講師は結の会が担当しました。参加対象は55歳以上の男性の方々、内容は毎回変わります。25年度も開催します。是非参加して下さい。



ひさびさの再会に笑顔



小学生！キャップハンディ体験特集！

キャップハンディ体験とは…ハンディをもってる人の立場になってみることで相手の立場やおかれている状態を理解する体験です。そして自分達ができる事は「何なのか」に気づいていく大切な時間です。参加した子ども達が気付いたのは…「**だれに対しても思いやりのある態度で接しようという気持ち**」でした。

小学生から
ステキなお手紙を
いただきました♪



花映

- 汐見小学校 4年生
11月20日・30日／手話体験・車いす体験・高齢者疑似体験
- 松ヶ浜小学校 4年
1月31日／車いす体験・白杖
- 亦楽小学校 6年
2月21日／車いす体験・白杖

ボランティアさんへ「ありがとうメッセージ」を届けよう♪

町内で活動して下さったボランティアさんは6万人以上。これまでに町民の皆様にご協力頂き、1万人のボランティアさんへメッセージカードを届けました。これからもご協力よろしくお願いします。

書ける場所は…七の市で！ボランティアセンターで！学校で！お家で！

ありがとうの気持ちを伝えましょう！



町内の学校でも書いてくれました！

松ヶ浜小学校ではボランティアさんへ「感謝の気持ちを形にしよう！」と皆で考え、800枚のカードを作成！センターへ届けてくれました。また自分達ができることはないかと全校上げて取り組んでいます(^^)

※メッセージ用のカードはボラセンが準備します

information



3.11震災から2年『絆』メモリアルイベント

3/16
(土)

2011・3・11より2年の月日が経とうとしています。
町民、そしてボランティア、支援して下さった皆さま、
それぞれの想いを抱えてその日を迎えることになります。
皆様と共に同じ時を過ごし、この月日に想いを馳せましょう！



【主な内容】

浜清掃・メモリアルコンサート

- 9時15分 ボランティアセンター集合(旧ボラセン スパーク集合)
10時～11時30分 浜清掃 く 場所：菖蒲田浜
12時 セケ浜町ボランティア友の会によるおしるこの炊き出し
13時30分～16時 国際村ホール メモリアルコンサート
・「ありがとうの手紙」朗読
《町民とボランティアさんからの手紙の朗読》
・あっちこっちの会 ピオラコンサート
・ゴスペル「VOV」(名古屋) NaNa5931友情出演

当日参加もできます
が3人以上のグループ
家族での参加は申し込
みが必要になります！

【申し込み先】

浜を元気に！
セケ浜町復興支援
ボランティアセンター

TEL/090-6853-4490

みんなでつくったサンドアート展示・Welcome コーヒー&スイーツの提供

主催/セケ浜町復興応援サポーター団体・セケ浜国際村事業協会

共催/浜を元気に！セケ浜町復興支援ボランティアセンター/セケ浜町社会福祉協議会

1 学習支援のお知らせ

～新学期に向けて勉強しよう！

小学生！中学生！高校生！集まれ～

日時/平成25年3月9日(土)・10日(日)・24日(日) 10時～15時

場所/セケ浜町中央公民館 多目的室、研修室B

持ち物/勉強道具 ※必要な方は弁当持参

主催/全国大学生協

★3月17日(日)小学生は大学生との楽しいスポーツ交流
も企画しています！

2 レクリエーション交流会

日時/平成25年3月23日(土) 9時30分～12時

場所/中央公民館大会議室

主催/特定非営利活動団体 山梨県ボランティア協会

3 春休みだ～みんな集まれ～!!
わくわく科学教室

《おもりのはたらき》

おもりをつけると、ゆらゆらしたりつりあったり。作ったり、
予想したり、実験したりしてみんなで楽しみましょう!!

日時/平成25年3月30日(土) 9時～12時

場所/セケ浜町中央公民館 第1・2研修室

参加費/一人:100円(材料費)

対象/小学生以上 一般(親子で参加大歓迎)

定員/20名 持ち物/筆記用具

主催・講師/宮城仮説サークル

岩崎ゆきえ(菅谷台小学校教諭)

曾根 幸子(あけの平小学校教諭)

【お問合せ・申し込み先】

浜を元気に！セケ浜町復興支援ボランティアセンター

携帯/090-6853-4490

NPO法人

レスキューストックヤード
からのお知らせボランティアきずな館・閉所式
～ありがとうの集い～

2011年4月23日には『ボランティアきずな館』を開館し、約2年間、ボランティアの宿泊拠点や地域住民の方々の憩いと交流の場として活用させていただきましたが、3月31日(日)に閉所を迎えることとなりました。ささやかではありますが、感謝のセレモニーを開催しますので、ご縁のあった方は、どうぞご参加くださいませ。

【日にち】：2013年3月31日(日)

【場 所】：中央公民館内

「ボランティアきずな館」前広場

【時 間】：11:00～13:00

【内 容】：町長・来賓挨拶、国際村パフォー
マンスカンパニーNaNa5931・Groove7
の演奏、お昼は軽食を予定しております。

.....

NPO法人レスキューストックヤードは、「東日本大震災」発災直後の2011年3月24日よりセケ浜町に常駐し、これまで、ボランティアセンターの運営補助、避難所・仮設住宅支援のみに留まらず、在宅、漁業など本町の復興にご協力いただいております。

なお、来年度、H25年4月より、「浜を元気に！セケ浜復興支援ボランティアセンター(老人福祉センター浜風「いろりの家」内)」内に事務局を移し、引き続きセケ浜の復興にご助力頂くことが決まっております。